

告知 平成29年度 ブロック大会開催に向けて

北海道・東北ブロック 開催地: 北海道支部

北海道新幹線開業に沸く 函館へ

◆平成29年6月8日(木)

◆参加予定 約400名

◆フォーポイントバイシセラトン函館



中川 竹志 会長

今大会は異国情緒が残る街並みや、豊かな水産資源に恵まれている函館市にご参集いただき、安全・安心に向けての取組みや指導員活動等の情報交換の場として有意義な大会になりますよう努めてまいります。心よりお待ちしております。

関東・甲信越ブロック 開催地: 長野県支部

四季折々の自然が楽しめる・さわやか信州へ

◆平成29年7月13日(木)

◆参加予定 約250名

◆ホテル国際21



本多 建明 理事長

長野県での開催は、14年ぶりとなります。食の安全・安心がさらに求められるなか、各支部での諸事業への取組みや抱えている問題について意見交換や情報交換を行い、相互の理解と親睦をはかり、有意義な大会となるよう努めてまいります。

暑い時期での開催となりますが、さわやかな信州の風を存分に満喫していただきますよう心よりお待ちしております。

東海・北陸ブロック 開催地: 三重県支部

美しい国 三重へ

◆平成29年6月27日(火)

◆参加予定 約250名

◆四日市都ホテル



中井 重利 会長

昨年、伊勢志摩サミットが開催された三重県にて開催することとなりました。本年は全国菓子大博覧会の開催もあり、多くの来県者が見込まれています。

これらの方がたに感動をもって三重を記憶していただくためにも食の安全は欠かすことができません。指導員活動がますます期待されることとなります。食の安全・安心の確保に向けて、皆さまと情報を共有できるよう願っています。

近畿ブロック 開催地: 京都市支部

おこしやす 京都

◆平成29年7月5日(水)

◆参加予定 約200名

◆ANAクラウンプラザホテル京都



池本 周三 会長

京都市では、毎年8月1日を「食の安全・安心デー」として、京都市条例に制定しました。内外のお客さまに安心してお越しいただくために、市長とともに啓発活動を行います。本大会が各支部間の活動の情報交流の場となり、実り多い大会になるよう皆さまのお越しをお待ちしております。

中・四国ブロック 開催地: 鳥取県支部

食のみやこ鳥取県に来てごしない!!

◆平成29年6月14日(水)

◆参加予定 約400名

◆米子コンベンションセンター



望月 進 会長

鳥取県西部の米子市で大会を開催します。周辺には大山、とっとり花回廊、水木しげるロード、ベタ踏み坂等多くの観光スポットがあります。一昨年は食品表示法が施行され、栄養成分表示の義務化、また、衛生管理手法であるHACCPの普及等も推進されています。

今後の食協活動のあり方等、一緒に考える機会としたいと思います。どうぞ来てごしない。

九州ブロック 開催地: 鹿児島県支部

5月はかごしまへおさいじゃったもんせ!!

◆平成29年5月12日(金)

◆参加予定 約1,500名

◆鹿児島市民文化ホール



肥後 辰彦 会長

本大会では、厚生労働省生活衛生・食品安全部長表彰式、食品衛生指導員体験発表、特別講演等を予定しており、有意義な情報交換の場となるよう準備を進めております。

来年は明治維新150年の節目をむかえ、NHK大河ドラマ「西郷(せご)どん」の放送も決定しております。ぜひこの機会に多くの皆さまに鹿児島へお越しいただきますよう、心からお待ちしております。

CONTENTS

- 平成29年度 ブロック大会開催に向けて 1
- 第4回衛生管理推進委員会 開催/第4回普及啓発事業委員会 開催 2
- 第4回福利厚生委員会 開催/食鳥処理衛生管理者 登録講習会 開催 3
- 平成28年度「ノロウイルス食中毒予防強化期間」事業 支部・支所 取組み一覧 4
- 平成28年度「ノロウイルス食中毒予防強化期間」事業 支所 取組み一覧/静岡県食品衛生協会 施設見学報告 5
- 共済金支払状況 6
- (広告) 7
- 出版インフォメーション 8

報告

第4回衛生管理推進委員会 開催

2月13日(月)午後1時30分より第4回衛生管理推進委員会を食品衛生センター6階会議室で開催いたしました。

冒頭、日食協桑崎専務理事より、本日のテーマは「HACCPの推進について」であるとし、厚労省での検討会最終報告をふまえ、許可業種に関わらず全業種をHACCP制度化の対象とする方向であることから、食品衛生協会の会員の多くを占める飲食店事業者に対し普及啓発していくための議論をしていきたいとのあいさつの後、北島委員長(佐賀県支部長)のもと議事を進行いたしました。

平成29年度より指導員活動を通じHACCPの考え方に基づく衛生管理の普及をするため、支部で実施する指導員研修会や巡回指導重点指導項目(平成29年度:HACCPの考え方に基づく衛生管理の実施)について協議いただきました。委員から、事業者が日ごろから行っている5S活動や五つ星等の衛生管理の見える化について指導員自身が理解を深めることの必要性、食協が先行して活動していくことについて、行政の考え方との整合性についてなどご意見がありました。

日食協といたしましては、会員の多くが飲食店事業者であり、飲食店については厚労省で考え方を示



HACCP制度化と食品衛生指導員活動の今後

していることを受けて、指導員活動により少しずつでも知識を普及することが、食協としてできると考えている旨で説明いたしました。



北島委員長

また、HACCPの制度化に向けて対応するため、平成29年度中に「食の安心・安全・五つ星事業」で使用している『衛生管理記録簿』を改訂することについて、衛生管理計画の作成方法や記録の習慣化に向け、五つ星でバックアップしてもらいたいといったご意見もありました。

本年度よりHACCP普及指導員による指導・助言事業を進めているところですが、より具体的な仕組みを示してほしいといったご意見もあり、制度化に向け食品衛生協会としてどのように取り組んでいくべきか積極的な意見交換の場となりました。

(公益事業部 岡本 愛)

第4回普及啓発事業委員会 開催

2月14日(火)午後1時30分より食品衛生センター6階会議室において、消費者ならびに食品等事業者への情報発信事業の強化を目的とした第4回普及啓発事業委員会を開催いたしました。昨年の本委員会において選任されました萩谷委員長(茨城県支部長)を議長に議事が進められました。

まず、平成28年度事業の進捗状況として月刊誌、単行本、ポスター、頒布品等の販売状況や、ノロウイルス食中毒予防強化期間の活動状況等の報告をした後、協議事項に移りました。

はじめに食品衛生教育シリーズについて協議され、現在、日食協で販売しているO157関連書籍は食肉製品に関わるリーフレットのみなので、野菜をはじめO157のさまざまな感染経路を集めた教育シリーズが欲しいとの要望がありました。

また、「食品衛生月間」、「ノロウイルス食中毒予防強化期間」の普及啓発資料については、価格は50円～100円が望ましい、また、食品衛生月間の下敷き



書籍・リーフレット等を含む資料をともに活発な意見交換が続く

は小さく使い勝手がよくないので、はという意見があり、来年度は下敷きのサイズを検討することになりました。



萩谷委員長

なお、日食協頒布品としてのATP試薬の価格をもっと安くできないかという提案を受け、さらに低価格で提供できるよう提携企業との協議をはじめ、キャンペーン期間を伸ばす等検討いたします。

本委員会での活発な意見交換を今後の出版物等の発行をはじめとした日食協からの情報発信に役立ててまいります。

(公益事業部 木戸 裕子)

報告

第4回福利厚生委員会 開催

2月20日(月)午後1時30分より食品衛生センター5階講堂にて第4回福利厚生委員会を開催し、小泉委員長(愛媛県支部長)を議長として議事が進められました。

はじめに、平成28年度における「あんしんフード君」推進の取組み、ならびに10万件達成に対する進捗状況、共済金支払い状況等について事務局より説明を行いました。

今回は協議事項として、今後のさらなる「あんしんフード君」普及推進の取組みについて協議いたしました。平成29年度は「あんしんフード君」10万件目標設定2年目となること、また、平成30年1月1日より補償範囲を拡大した制度改定を予定していることから、契約増強にとって節目の年度となります。日食協としても、全国の支部支所で取り組める統一的な対策を提案したいと考えているため、各委員の皆さまより現場での推進状況や課題等を交えなが



小泉委員長の挨拶から会議が始まります

ら、さまざまなご意見をいただきました。

「あんしんフード君」10万件達成については、全国での増加件数の伸びが鈍化していることもあり、非常に厳しい状況となっております。今後、このような皆さまとの意見交換の場がますます重要となってくると思いますので、共済部としても情報収集および情報提供に力を入れていきたいと考えております。(共済部 藤原 彩香)

報告

食鳥処理衛生管理者 登録講習会 開催

日食協、全国食鳥肉販売業生活衛生同業組合連合会、(一社)日本食鳥協会3団体主催により「平成28年度食鳥処理衛生管理者の登録講習会」を東京都の登録を受け、平成29年2月6日(月)～8日(水)の3日間、食品衛生センター5階講堂において開催いたしました。

東京での開催が3年ぶりだったこともあり、北海道から沖縄まで全国から135名の参加をいただきました。「食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律」で定められた科目の講義を受講され、全員が修了いたしました。



講義にも身が入ります(東京会場)



これからテストです(宮崎会場)

本講習会の受講希望調査では、例年九州地域の希望者数が多く、本年度は宮崎県支部が独自で宮崎県の登録を受け、平成29年1月31日(火)～2月2日(木)の日程で開催いたしました。高病原性鳥インフルエンザが県内で発生したことで、一時は開催も危ぶまれましたが、行政との調整のもと、無事に開催され108名が課程を修了された旨、情報をご提供いただきました。

今後、修了された皆さまの食鳥処理衛生管理者としてのご活躍を期待しております。

(公益事業部 吉田 裕一)

報告 平成28年度「ノロウイルス食中毒予防強化期間」事業 支部・支所 取組み一覧

本年度も標記事業にご協力いただきましてありがとうございました。全国57支部366会場で約56,000人の参加者(申請時予定)に、手洗い教室や汚物処理教室、ノロウイルスについての各種講習会等を開催していただきました。今月号より支部・支所での取組みについてご紹介してまいります。(公益事業部事業課)

支部名	開催日	支部・支所	参加者数 (予定数を含む)	参加費	講師 (敬称略)
北海道	11/1	遠軽地方支所	52	無料	紋別保健所 遠軽支所 篠原真理子
	11/15	釧路地方支所	55	無料	釧路地方支所 専務理事 中島徳政、釧路保健所 食品保健係長 安田峰則
	11/17	小樽市支所	38	無料	小樽市保健所 二瓶昌子、布施清夏
青森県	11/7	弘前支所	79	1,000円	弘前保健所 坂上友康、倉本ひろみ、根橋香織、磯雄大
	11/17	十和田支所	126	1,000円	上十三保健所 田辺美弥子
	11/21	三沢支所	72	1,000円	上十三保健所 林健太郎
	11/24	青森支所	95	1,000円	青森市保健所 淀野啓吾
	11/30	八戸支所	95	1,000円	八戸保健所 西村秀太郎
12/2	南黒支所	76	1,000円	弘前保健所 坂上友康、倉本ひろみ、根橋香織、磯雄大	
岩手県	11/7	岩手県支部	50	無料	東京サラヤ(株)仙台営業所 佐藤陽美
	11/1	県央支所	25	無料	滝沢分会長 佐藤詩夫、岩手県県央保健所 上席保健師 加藤孝子
	11/2	県央支所	13	無料	滝沢分会長 佐藤詩夫
	11/4	県央支所	8	無料	滝沢分会長 佐藤詩夫、岩手県県央保健所 上席保健師 加藤孝子
	11/7	県央支所	10	無料	滝沢分会長 佐藤詩夫、岩手県県央保健所 保健師 千田江美
	11/8	県央支所	13	無料	滝沢分会長 佐藤詩夫、岩手県県央保健所 上席保健師 加藤孝子
	11/9	県央支所	15	無料	滝沢分会長 佐藤詩夫、岩手県県央保健所 保健師 千田江美
	11/10	県央支所	37	無料	滝沢分会長 佐藤詩夫、岩手県県央保健所 上席保健師 加藤孝子
	11/11	県央支所	15	無料	滝沢分会長 佐藤詩夫、岩手県県央保健所 上席保健師 加藤孝子
	11/14	県央支所	18	無料	滝沢分会長 佐藤詩夫、岩手県県央保健所 保健師 千田江美
	11/15	県央支所	9	無料	滝沢分会長 佐藤詩夫
	11/18	県央支所	25	無料	滝沢分会長 佐藤詩夫
	11/24	県央支所	30	無料	滝沢分会長 佐藤詩夫
	11/25	県央支所	7	無料	滝沢分会長 佐藤詩夫
	宮城県	11/4	大崎支所	103	無料
11/11		登米支所	97	無料	登米保健所 松田聡子、東京サラヤ(株) 齋藤磨理恵
11/16		岩沼支所	22	無料	塩釜保健所 岩沼支所 松井貴弘
11/29		塩釜地区支所	49	無料	塩釜保健所 岩沼支所 星杏奈
1/20		栗原支所	55	無料	栗原保健所 八島由美子、(株)オーヤラックス 浅野隆
秋田県	10/31	秋田県支部	1,100	無料	指導員
	10/31	鹿角支所	112	無料	指導員
	10/31	北秋田支所	20	無料	指導員
	11/17	角館支所	50	無料	指導員
	10/22、23	大曲支所	280	無料	指導員・保健所員
	10/14	湯沢雄勝支所	106	無料	指導員・保健所員
	11/4	湯沢雄勝支所	52	無料	指導員・保健所員
	2/7	横手支所	24	無料	指導員・保健所員
12/7、8	能代山本支所	95	無料	指導員	
山形県	11/22	山形地区支所	65	無料	村山保健所生活衛生課 乳肉衛生管理主査 木幡
	11/30	北村山地区支所	30	無料	村山保健所生活衛生課 食品衛生主査 浅黄
	12/20	山形地区支所	50	無料	村山保健所生活衛生課 食品衛生主査 浅黄
福島県	10/25	福島県北支所	106	一般：1,000円 会員：500円	岩手県支部 指導員部会長 高橋紀男、 県北保健所 生活衛生部 衛生推進課 橋本正行
	11/1	郡山支所	316	無料	郡山市保健所 地域保健課 鈴木恵理子、郡山市保健所 生活衛生課 木村友紀 国立医薬品食品衛生研究所 野田衛
	11/29	会津支所	176	会員：無料 会員外：500円	会津保健所 生活衛生部 衛生推進課 課長 海老名裕二、五十嵐和輝
	11/29	県中支所	116	500円	県中保健所 衛生推進課 鈴木和則、県中保健所 医療薬事課 竹石穂菜美
	12/6	福島県支部、 いわき支所	119	2,000円	福島県保健福祉部 食品生活衛生課 深谷友香 日本食品衛生協会 学術顧問 丸山務、松本奈見子
茨城県	12/20	筑西支所、常総支所、 古河支所	68	無料	古河保健所 衛生課長 佐原、東京サラヤ(株) インストラクター 石船
	1/13	古河支所	63	無料	古河保健所 衛生課長 佐原、東京サラヤ(株) インストラクター 西本
	1/18	水戸支所	82	無料	手洗いマイスター
栃木県	11/24	今市支所	95	無料	今市健康福祉センター 畠山
	11/12	真岡支所	120	無料	県東健康福祉センター 2名、指導員 2名
	11/30	栃木支所	52	無料	東京サラヤ(株) インストラクター 江口
	11/13	小山支所	120	無料	手洗いマイスター
11/29	大田原支所	95	無料	県北健康福祉センター 佐藤、手洗いマイスター	
群馬県	11/15	群馬県支部、 高崎支所	75	無料	高崎市保健所 課長補佐 都丸昌人、衛生環境研究所感染制御センター 主任 塩野雅孝
	11/17	群馬県支部、 前橋支所	92	無料	前橋市保健所 課長補佐 砂長千晶、衛生環境研究所感染制御センター 主任 塩野雅孝
	1/17	群馬県支部、 利根沼田支所	80	無料	渋川保健福祉事務所 技師長 坂野陽一、衛生環境研究所感染制御センター 主任 塩野雅孝

支部名	開催日	支部・支所	参加者数 (予定数を含む)	参加費	講師 (敬称略)
埼玉県	11/9	草加支所	330	無料	食監OB 秋田直文
	11/10	川越市支所	250	無料	協会講師 浅野日和男
	11/16	越谷市支所	350	無料	協会講師 遠山完
	11/16	飯能支所、 日高支所	250	無料	食監OB 大澤喜一郎
	11/16	幸手支所	400	無料	食監OB 江崎寛夫
	11/22	坂戸支所	300	無料	食監OB 名雪博二
	11/29	川口支所	500	無料	協会講師 秋田直文
	11/29	秩父支所	440	無料	協会講師 吉田幸夫
	11/30	本庄支所	300	無料	協会講師 中島秀夫
	1/18	寄居支所	130	無料	協会講師 吉田幸夫
	1/18	熊谷支所	300	無料	協会講師 遠山完
	1/23	深谷支所	220	無料	協会講師 遠山完
千葉県	11/14	柏市支所	150	無料	手洗いマスター 大松澤泰、植松孝子、林代吉、風澤秀夫 他
	11/22	柏市支所	250	無料	手洗いマスター 植松孝子、林代吉、増尾直文、風澤秀夫 他
	11/25	柏市支所	94	無料	手洗いマスター 林代吉、増尾直文、生繁友康、風澤秀夫 他
	11/24	海匠保健所 管内支所	128	無料	千葉県食品衛生協会 専務理事 内山潤一郎、小野健司
	12/9	市原市支所	32	2,000円	福原誠
東京都	11/22	東京都支部	85	無料	国立医薬品食品衛生研究所 野田衛
神奈川県	11/1	神奈川県支部	16	1,500円	鎌倉保健福祉事務所 石原建、東京サラヤ(株) 1名、県食協 3名
	11/9	神奈川県支部	21	1,500円	厚木保健福祉事務所 大森笑子、東京サラヤ(株) 2名、県食協 3名
	11/25	神奈川県支部	27	1,500円	鎌倉保健福祉事務所 三崎センター 剣持壮一郎、東京サラヤ(株) 2名、県食協 3名
	11/29	神奈川県支部	21	1,500円	平塚保健福祉事務所 坂上高幸、東京サラヤ(株) 2名、県食協 2名
	12/6	神奈川県支部	11	1,500円	厚木保健福祉事務所 八木芳夫、東京サラヤ(株) 2名、県食協 2名
	12/8	神奈川県支部	26	1,500円	小田原保健福祉事務所 相原康子、東京サラヤ(株) 2名、県食協 3名
新潟県	10/17	十日町支所	50	無料	十日町保健所 衛生環境課長 佐藤崇、十日町支所 食品衛生指導員(手洗いマスター)
	10/20、24 11/8、14	中越支所	614	無料	長岡保健所 生活衛生課長 伊藤浩、中越食品衛生協会 食品衛生指導員(手洗いマスター)
	11/7	柏崎支所	46	一般:500円 会員:無料	柏崎保健所 衛生環境課長 浅間康代、柏崎食品衛生協会 食品衛生指導員(手洗いマスター)
	11/30	新潟県支部、 新潟市支部	430	無料	新潟県保健環境科学研究所 参事 田村務、新潟市保健所 保健管理課 今井由美子(株)ダスキン 食の安全衛生推進顧問 五十嵐勢男
	12/15	新潟県支部	77	テキスト・ 資料代2,000円	長岡保健所 生活衛生課長 伊藤浩、新潟県食品衛生協会 専務理事 牧吉範 東京サラヤ(株)新潟出張所 係長 山内江里子

こころ
食品衛生研究所

静岡県食品衛生協会 施設見学報告

1月19日(木)に(一社)静岡県食品衛生協会の山崎会長をはじめ、役職員の方が15名が当研究所に來所され、施設の見学を行いました。

研究所の概要について説明後、白衣を着用いただき、2班に分かれて各試験部にご案内いたしました。化学試験部では試料前処理室から始まり、器具保管庫や薬事試験室、機器分析室などの各試験室を、微生物試験部では細菌試験室やクリーンルームなどを見学し、実際に、検査員がさまざまな食品、器具、化粧品原料等の試験検査をしている様子をご案内いただきました。

技術研修室で開催される各種研修会では、各分野の専門家である講師陣による講義と実技を伴ったカリキュラムで、事業者の検査技術向上に貢献していること、平成28年度より開始した技能比較試験については、事業者の検査技術の客観的な評価を行える点についてご説明し

ました。また、事業者によるアレルギーの対策について、検査キットメーカーの協力を得て、20~30名程度の実技を伴う研修会が地方開催も対応可能なことをご案内し、最後に意見交換も行われました。

短い時間での施設見学会ではありましたが、参加者の方がたに研究所の様子をご覧いただき、当研究所のさまざまな事業を知っていただくよい機会になったと思います。

各支部・支所等の方がたからの見学は随時受け付けておりますので、食の安全を守る検査の現場をぜひ見学にいらしてください。(検査事業部 林 伸彦)



山崎会長の閉会ご挨拶



化学試験部にて前処理について説明を受ける見学者

少しのミスが大きな事故に もしもの時に「あんしんフード君」を！

「あんしんフード君」・「食品営業賠償共済」 共済金の支払い状況

支払日(2017.1.1～1.31抜粋)

原因物質等	事故発生日	支部名	支所名	加入コース	業種名	年間掛金(円) 休業掛金(円)	事故の概況	被害者数	共済金額(円)
アレルギー	2014.6.27	千葉県	市川	あんしん フード君	飲食店	9,000	お客から乳製品アレルギーがあることを申告されていたが、誤ってバターを使用した料理を提供しアレルギー症状を発生。低酸素脳症による高次脳機能障害が発生した。	1	賠：1,294,138 弁：801,351
	2016.6.25	京都市	伏見	レギュラー	飲食店	12,000 施：4,100	卵アレルギーの乳児を連れてお客から事前に卵の使用を確認された際、誤って従業員が使用していない旨の回答をし、喫食した乳児がアレルギー症状を発生。お客が感情的になり示談困難と判断し弁護士へ委任した。	1	賠：55,372 弁：329,400
	2016.10.3	長野県	佐久	レギュラー	飲食店	10,000	おやきを販売する際にお客から乳製品の使用について確認があったが誤って回答をしたため、喫食したお客の子供がアレルギー症状を発生。	1	弁：54,000
	2016.12.22	福岡県	南筑後	あんしん フード君	仕出し・弁当 給食施設 飲食店	99,500	卵アレルギーを持つ園児に誤って卵を使用した給食を提供し、アレルギー症状を発生させた。各種費用にて見舞品代を支払う。	1	賠：10,549 被：3,412
ノロウイルス	2016.1.27	茨城県	つくば	レギュラー	飲食店	2,700	提供した生ガキによるノロウイルス食中毒。	3	賠：234,575 弁：648,000
	2015.10.12	埼玉県	富士見	レギュラー	仕出し・弁当	6,500	販売した弁当によるノロウイルス食中毒。	50	賠：872,918
	2016.10.29	埼玉県	加須	レギュラー	飲食店	10,000 4,100	提供した料理によるノロウイルス食中毒。	11	賠：156,214
カンピロ バクター	2016.9.24	佐賀県	唐津	ワイド	飲食店	4,200 1,300	提供した料理によるカンピロバクター食中毒。	1	賠：86,815
	2016.11.21	埼玉県	坂戸	あんしん フード君	飲食店	9,000 900	提供した料理によるカンピロバクター食中毒。	1	賠：5,082
異物混入	2016.12.4	福島県	県南	あんしん フード君	食料品販売業	3,500	販売したマグロの刺身に骨が混入しており、喫食したお客が口内を負傷した。	1	賠：66,297
施設 賠償事故	2016.11.3	滋賀県	八日市	あんしん フード君	飲食店 すし	9,000	従業員が座敷の戸を閉める際に座敷から顔を出しているお客に気づかず戸を閉め、お客の眼鏡を破損させた。	—	施：47,520
	2016.8.22	千葉県	東金	レギュラー	季節飲食 (海の家など)	700 施：1,100	加入者が営業していた海の家が台風により飛散し、隣の店舗および近隣の駐車車両に当たり破損させた。	—	施：1,481,525
	2016.11.5	滋賀県	長浜	あんしん フード君	飲食店	9,000	従業員が飲み物を提供する際に誤ってこぼし、お客のブランド物のバッグおよびマフラーを汚損させた。	—	施：175,134
	2016.12.28	富山県	富山市	あんしん フード君	飲食店	9,000	従業員が誤ってお客とぶつかった際に落ちたお客の眼鏡を踏んでしまい破損させた。	—	施：34,452
	2016.9.7	千葉県	市川	レギュラー	飲食店	2,700 400 施：4,100	従業員が温かい蕎麦を提供する際に誤ってこぼし、お客に火傷を負わせた。その際、身につけていた時計にもつゆがかかり破損させた。	1	施：41,805
受託物 賠償事故	2016.12.9	福岡県	博多	あんしん フード君	飲食店	89,400	従業員がお客より預かっていた靴を他のお客に渡して、紛失させた。	—	受：32,076
	2016.9.23	山口県	周南	あんしん フード君	旅館	19,000 1,100	駐車場内にて従業員がお客の車を移動中に誤って歩道のポールに接触し車両を破損させた。	—	受：376,583
	2016.12.3	福岡県	博多	あんしん フード君	飲食店	9,000 2,100	お客から預かった手荷物(腕時計、アクセサリ等)を誤って別のお客に渡し紛失させた。	—	受：174,504
被害者 治療費等	2015.2.8	熊本県	天草	あんしん フード君	飲食店	9,000	お客が店内の段差につまづいて転倒し負傷した。各種費用にて通院見舞金を支払う。	1	被：30,000

※太字の箇所は共済金が100万円を超えるもの。

賠：生産物賠償金、施：施設賠償金、受：受託物賠償金
被：被害者治療費等、弁：弁護士費用

今回は食物アレルギーによる事故事例を紹介いたします。加入者は、お客が乳製品のアレルギーを有していることを申告していたにもかかわらず、バターの乗ったステーキを提供してしまいました。しかも、作り直しを求められたステーキは、バターの乗った部分のみを交換し、溶けたバターが残った同じ鉄板で再度提供するという対応をしてしまいました。その結果、アナフィラキシーショックを発生し、それに伴う高次脳機能障害が発生した事例です。この例では、5日間の入院費を含む治療費211,480円、感謝料930,500円、通院交通費35,418円に加え、加入者が治療費等の支払いを拒絶したことにより仮処分の申し立てが行われたため、弁護士費用801,351円もお支払いしています。食物アレルギーによる事故は重篤な症状を起こし、場合によっては死亡することも十分に考えられ、損害賠償金額も高額になるおそれがあります。消費者保護だけでなく、企業の経営安定のためのリスク管理として賠償共済へのご加入をおすすめくださいますようお願いいたします。

第5回いきものにぎわい企業活動コンテストで「審査委員特別賞」を受賞

三井住友海上火災保険株式会社 VOL.157
広域法人部営業第一課

MS&ADインシュアランス グループの三井住友海上火災保険株式会社(社長:原 典之)は、今般、企業による生物多様性保全・再生のための実践的な活動を顕彰する「第5回いきものにぎわい企業活動コンテスト」(主催:いきものにぎわい企業活動コンテスト実行委員会、後援:環境省、農林水産省)において「審査委員特別賞」を受賞しました。

12月9日に東京ビッグサイトで開催された表彰式では、応募件数80件の中から、環境大臣賞・農林水産大臣賞をはじめとする10件の受賞活動が発表されました。当社の受賞は、三井住友海上駿河台ビル(本社)および駿河台新館での生物多様性に配慮した緑地整備、屋上菜園の貸し出しや環境コミュニケーション施設「ECOM駿河台」の運営による地域との交流などが評価されたものです。

生物多様性の保全活動を通じて、今後もいきものと共生する緑のまちづくりに貢献していきます。

1. 賞の名称と受賞プロジェクト

(1)賞の名称

「第5回いきものにぎわい企業活動コンテスト」
審査委員特別賞

(2)受賞プロジェクト

「いきもの」と「まち」と共生する駿河台緑地の取り組み ~進化し続ける緑化に向けた緑地プロジェクトチームの挑戦~

関連部署および緑地管理を担う社外の専門家などが連携する「駿河台緑地プロジェクトチーム」を組成し、ハード・ソフトの両面で都市緑化を推進している。



<駿河台新館の緑地>

2. 受賞プロジェクトの概要

(1) 都会で暮らす方々に自然の恵みを体験できる場を提供することを目的に開始したプロジェクト。

7,000㎡を超える緑地(緑地化率約4割)を有する、三井住友海上駿河台ビル・駿河台新館において、

(2) 生物多様性に配慮した緑地の魅力を最大限に引き出すべく、周辺住民に開放している屋上庭園や屋上菜園、環境コミュニケーション施設「ECOM駿河台」を活用している。

ジブラルタ生命は、食協生命共済保険取扱会社です。

ジブラルタ生命保険株式会社 VOL.157

経営者の介護リスクは会社の経営リスクです!

経営者にとっても介護リスクは身近なものです

介護が必要な状態になってしまったら
経営者はリタイアせざるを得ないかもしれません

会社にとってのリスク

- 信用力の低下
- 売上の減少
- 資金繰りの悪化
- 借入金返済資金の不足
- 事業承継と後継者問題

会社に必要な対策

- 事業保障資金対策
 - 運転資金、借入金返済資金等の確保
- 勇退退職金資金対策
 - 勇退退職金資金等の確保
- 事業承継資金対策
 - 自社株買取資金等の確保



もしも経営者の皆さんが介護状態となり、働けなくなってしまったら・・・

大切なご家族や会社・従業員を守る方法を考えてみませんか?

ジブラルタ生命では介護に備える経営者様向けの保険を新たに発売しました。

詳しくは当社のライフプラン・コンサルタントにご相談ください。



Gibraltar
ジブラルタ生命

ジブラルタ生命保険株式会社: 本社/〒100-8953東京都千代田区永田町2-13-10
コールセンター: TEL 0120-37(ミナ)-2269(ジブロック)

出版

INFORMATION

担当:能澤友佳

E-mail:nozawa@jpha.or.jp

◆◆◆食品衛生教育シリーズより◆◆◆

食品衛生の基本を学ぼう!

～新人教育向け書籍のご案内～

3月に入り、気候もだんだんと春めいてきました。新年度を控えた今月号では、食品衛生教育シリーズのなかから、はじめて食品の製造・調理等に携わる方が食品衛生の基本を学ぶのに最適な3冊をご案内します。

食中毒を防ぐためにまず思い浮かぶことは何でしょうか?守るべき食品衛生の基本を学び、万全な予防・対策を実行しましょう。



新訂 食品衛生の12章

食中毒予防の基本的な知識から、合理的な衛生管理の方法であるHACCPや食品の表示まで、実践すべき食品衛生のポイントを12の章にわけてわかりやすく解説。

- 体裁 B5判 36ページ
- 定価 360円(税込)



改訂新版 今日からはじめよう! 食品衛生

食品を取り扱う人自身の個人衛生をはじめ、食品の取扱いなど6つのポイントで構成。食品衛生業務に携わる方への教育の参考となる一冊。

- 体裁 A5判 24ページ
- 定価 308円(税込)



新人のための 食品衛生

お客さまに安全な食品を提供するために必要な手洗い、食器・調理器具等の取扱い、食品の取扱いなどのポイントをまとめた新人教育に最適の書。

- 体裁 A5判 24ページ
- 定価 308円(税込)

◀送料▶ 1回のご注文金額が3,000円以上→サービス 3,000円未満→一律300円(ただし送付先が1か所の場合に限る)

食品衛生教育シリーズはイラストや図表を多用し、わかりやすい解説が特徴の書籍で、食品等事業者のみならず学校やご家庭等においても幅広くご利用いただけます。上記3冊以外にも多数取り揃えていますので、この機会に日食協ホームページ内「食品衛生関連図書」(下記URL参照)をぜひご覧ください。

◀食品衛生関連図書URL▶ <http://suishinka.shop15.makeshop.jp/>

3月号の内容

食と健康 食品衛生研究

■月刊「食と健康」

特集1 どうなる? 加工食品の原料原産地表示制度
「加工食品の原料原産地表示制度に関する検討会」による中間取りまとめの内容を中心に、新たな原料原産地表示制度の基本的な考え方や表示方法についてわかりやすく説明。

特集2 今、あらためて知っておきたいO157による食中毒
昨年多発したO157による食中毒。あらためて腸管出血性大腸菌O157の特徴および飲食店におけるO157食中毒予防対策について事例もあわせて解説。

■月刊「食品衛生研究」

- ◆非動物性の加工食品等における病原微生物の汚染実態に関する研究
- ◆食品からのダイオキシン類の摂取量推定 — 厚生労働科学研究による調査結果(平成25～27年度)の紹介 —

定期購読・書籍のご注文、お問い合わせは 公益社団法人日本食品衛生協会 公益事業部推進課まで
TEL 03-3403-2114 FAX 03-3403-2384 メールアドレス fukyuuka@jpha.or.jp

編集後記

日に日に暖かい日が多くなり、春の訪れを実感しています。皆さまにとって平成28年度はどんな1年になりましたでしょうか?平成29年度もより良い「日食協ニュース」をお届けできるよう、編集委員一同邁進してまいります。(高野)